

科目	医療学入門(PT)	担当	江西 一成	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

理学療法士は、広く保健・医療・福祉の各領域において、理学療法技術を介した対象者中心のサービスを提供する。そこには高い職業倫理観が求められ、その倫理観の内容の理解と修得を目標とする。受講者は、まず、他者との円滑なコミュニケーションのあり方を理解し、同時に医療従事者としての基本的態度や清潔不潔、患者・治療者関係等々の意義を理解し、その具体的な行動の説明が可能となることを到達目標とする。

**【履修注意】**

授業を通じて、ワークショップやディスカッション等を行う体験的学習を中心としている。知識・技術の習得のみに偏重することなく、他者との関わりを意識しながら、専門職業人としての基本を培うため、積極的に活発な参加を期待する。

**【評価方法】**

期末試験の結果、授業態度、出欠状況などを総合的に評価

**【試験について】**

期末試験は筆記試験

再試験対象者の条件：本試験で40点以上60点未満を対象とする。ただし、40点未満は対象としない。

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。課題担当発表者の内容についてのディスカッションに備え、各講の課題について予習しておくこと。

**【教科書】**

指定なし

授業ごとに資料を配布する

**【参考書】**

指定なし

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	保健・医療・福祉の理解①	オリエンテーション、リハビリテーションとは
2	保健・医療・福祉の理解②	保健・医療・福祉とは何か、社会保障との関係、動向と課題
3	医療機関の理解①	医療機関とは、身体的健康、チーム医療、日常生活活動
4	医療機関の理解②	医療機関の使命とリハビリテーション、他者との関係、自己決定
5	コミュニケーション	コミュニケーションとは、傾聴、面接技法、「ジョハリの窓」ゲーム
6	情報収集・発表の方法	情報の検索・取捨選択の仕方、分かり易い発表方法
7	事例プレゼンテーション①	対人サービスを考える
8	事例プレゼンテーション②	健康と病気、生活活、社会参加
9	事例プレゼンテーション③	人権と自己決定
10	事例プレゼンテーション④	医療のルール、リスク管理
11	事例プレゼンテーション⑤	医療提供と生活環境
12	事例プレゼンテーション⑥	地域社会と生活
13	体験学習①	補装具体験①
14	体験学習②	補装具体験②
15	体験学習③	補装具体験②
16	期末試験	15回の復習・確認・まとめ